

第1学年 音楽科学習指導案

日時 令和4年11月8日(火)

場所 1年1組教室

児童 男11名 女13名 計24名

指導者 佐々木 美弥子

1 題材名 打楽器の音色のよさを生かして鳴らしましょう【器楽】

教材名 おとさがし

さがしてみよう ならしてみよう

2 題材の目標

- (1) 楽器の音色と演奏の仕方との関わりに気づくとともに、音色に気を付けて、打楽器を演奏する技能を身に付ける。【知識及び技能】
- (2) 音色を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもつ。【思考力、判断力、表現力等】
- (3) 打楽器の音色のよさや面白さに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組む。【学びに向かう力、人間性】

3 題材について

(1) 児童について

これまで、身の回りの様々な「音」に着目して音遊びを行い、音色の特徴に気付いたり、声で音色を表現したりする活動を行ってきた。

また、カスタネットやタンブリンを音色に気を付けて演奏したり、鍵盤ハーモニカの音色、旋律や強弱を聴き取ったり、基本的な演奏の仕方が身に付いてきている。

(2) 教材について

本題材は、A表現(2)器楽の指導事項ア器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもつこと。イ(イ)楽器の音色と演奏の仕方との関わり、ウ(イ)音色に気を付けて、旋律楽器および打楽器を演奏する技能、共通事項(1)ア音色を指導するものとする。

「おとさがし」は、トライアングルやすず、タンブリンを使って、いろいろな演奏の仕方によって音色が変化するよさや面白さを感じ取ることに適している。

「さがしてみよう ならしてみよう」は、子どもたちが選んだ楽器を歌と合わせて楽しむことができる教材である。友達の演奏を聞いたり模倣したりしながら、いろいろな演奏の仕方と音色との関わりに気付くことができる。

(3) 指導について

「おとさがし」では、友達と関わりながら身近な打楽器を使って様々な音の鳴らし方を試し、一つの楽器から色々な音色や響きを見付け、その違いを感じ取らせる。様々な音色を探しながら、見つけた音色を互いに聴き合うことで、一つの楽器でも様々な鳴らし方があることに気付かせていく。

「さがしてみよう ならしてみよう」では、好きな打楽器を選んで演奏することによって、打楽器の音色や音の特徴に気付くよう促しながら、演奏することがさらに好きになるように指導す

る。

(4) 研究との関わり (本時の指導)

視点1 【進んで学習に取り組むための工夫】

③自分の学びの振り返り	ア できるようになったことやできなかったこと、学びに向かう態度を自分の言葉で表現 ロイロノートのアンケートを活用し、自分の学びの達成度を確認し、全員の回答データをグラフでみることで学級全体の学びを共有できるようにする。
-------------	--

視点2 【自分の考えを表現するための工夫】

②考えを深める	ア 共通点・相違点を基にした自分の考えとの比較 友達の音色やリズムを工夫しているところを見つけ合う。自分や友達が鳴らした楽器の音色の特徴や違いと、音を聴いた時に感じた気持ちを関わらせながら、いろいろな演奏の仕方と音色との関わりに気付かせる。
---------	---

5 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知 楽器の音色と演奏の仕方との関わりに気付いている。 技 思いに合った表現をするために必要な、音色に気を付けて打楽器を演奏する技能を身に付けている。	思 音色を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。	態 打楽器の音色のよさや面白さに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。

時間	◇ねらい ○学習内容	知・技	思	態
		〈 〉内は評価方法		
1	◇身近な打楽器の音色や音の特徴に気付く。 ○様々な鳴らし方を試して、一つの楽器からいろいろな音色を見つける。 「おとさがし」 ○気に入った音を選ぶ。 【視点1 ③自分の学びの振り返りア】 【視点2 ②考えを深めるア】	知 (観察・発言)		
2	◇打楽器の音色の特徴を生かして音の鳴らし方やリズムを工夫し、どのように演奏するかについて思いをもつ。 ○曲全体の感じをつかむ。 「さがしてみよう ならしてみよう」 ○打楽器の音色やリズムを考え、曲に合わせてどのように鳴らすか思いをもつ。 【視点1 ③自分の学びの振り返りア】 【視点2 ②考えを深めるア】		思 (発言・観察)	



3 本 時	<p>◇思いにあった表現をするために、音色に気を付けて打楽器を演奏する。</p> <p>○気に入った音をみんなで歌に合わせて鳴らして、楽しさを共有する。</p> <p>「さがしてみよう ならしてみよう」</p> <p>【視点1③自分の学びの振り返りア】</p> <p>【視点2②考えを深めるア】</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">技</div> 〈演奏・観察〉	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">態</div> 〈観察・記述〉
-------------	---	---	---

6 指導と評価の計画

7 本時の指導

(1) 目標 思いにあった表現にするために、音色に気を付けて打楽器を演奏する。(知識・技能)

(2) 展開

段階	学 習 活 動	○指導上の留意点 ◎評価 ☆ICT 活用 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">視点に基づく手立て</div>
導 入	<p>1 前時の学習を振り返る。</p> <p>2 本時の学習活動を確認する。</p> <p>3 学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> すきなおとをうたといっしょにならして たのしもう。 </div>	<p>○音色に気を付けて、前時に決めた打楽器で「たん たん たん うん」のリズムを打つ。 (同じ楽器ごと)</p> <p>○選んだ楽器の好きな音を、歌に合わせて演奏する。</p> <p>○演奏で気を付けることを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気に入った音色を大切に演奏する。 ・自分の演奏する音を友達に届ける。
展 開	<p>4 グループごとに活動する。</p> <p>5 グループごとに演奏したものを学級全体の演奏に広げ、友達の演奏を聴いて、よかったところや面白かったところを伝え合う。 〈すきなおと♪コンサート〉</p>	<p>○活動場所を指定する。</p> <p>○演奏の仕方や楽器の鳴らし方で困っている児童には、何で困っているのかを確認し、必要に応じて持ち方や鳴らし方を確かめたり、演奏するリズムを一緒に鳴らしたりして支援する。</p> <p>○友だちの演奏を聴くときは、音色のよさや面白さを見つけ合うように視点を与える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 友達の音色やリズムを工夫しているところを見つけ合う。自分や友達が鳴らした楽器の音色の特徴や違いと、音を聴いた時に感じた気持ちを関わらせながら、いろいろな演奏の仕方と音色との関わりに気付かせる。 </div> <p>【視点2②ア自分の考えを表現するための工夫】</p> <p>◎思いに合った表現をするために必要な、音色に気を付けて打楽器を演奏する技能を身に付けている。〈技演奏・観察〉</p>

終末	<p>6 本時を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・好きな音を鳴らして楽しめたか。 ・友達の声のよさや面白さを見つけたか。 	<p>○課題や演奏で気を付けたことを振り返る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>ロイロノートのアンケートを活用し、自分の学びの達成度を確認する。全員の回答データをグラフでみることで学級全体の学びを共有できるようにする。</p> </div> <p>【視点1 ③ア自分の学びの振り返り】 ☆ICT活用 ◎打楽器の音色のよさや面白さに興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。〈態観察・記述〉</p>
----	---	--

8 板書計画

すきなおとをうたといっしょにならしてたのしもう。

トライアングル

すず

タンブリン

タンブリン

※歌の歌詞

「さがしてみよう ならしてみよう」

みつけたよ！
おとのよさやおもしろさ

○
○
○

(学習形態)

黒板

電子黒板

